

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 11 月 17 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 8 回)		
出席者	田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井孝二委員、石井信子委員、石坂委員、岩木委員、上原委員、金井委員、木内委員、竹田委員、玉井委員、西川委員、西沢委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員) 清水委員 (事務局) 山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。前回の協議会で地域まちづくり方針の見直しということでお話をした。その折に分科会に分かれて協議した方がいいのではというご意見があった。前回、分科会の所属を決めたので、それにより進めてまいりたい。 11 月 1 日に地域別懇談会が開催された。城南地域協議会と行政との共催の形で行われた。地域の課題も出されているので、今後、そんな点も議論していきたい。			
3 会議事項			
(1)「地域まちづくり方針」の見直しの検討について 資料：「上田城南地域 地域まちづくり方針の見直し検討」 より事務局から説明			
【主な質疑等】 委員：今日はどこまで議論したらいいか。文言の見直しを最後まで進めなくてもいいか。 事務局：上がりは 3 月だが、最終確認に 1 回は協議が必要だと思うので、あと 2 回は協議する機会があると思う。 委員：分科会の意見が出るが、他の分科会に所属している委員の意見の吸い上げは、してもらえるのか。 事務局：分科会だけというわけにはいけないので、分科会の後か次回に、それぞれの			

分科会の進捗状況をお話いただく。そのときに全体で意見を出していただく形になる。

委員：今日は発表できるような具体的なことは出ないと思う。今回は新しい方も入っている。経過を説明して、グループでどのように進めていくか考え、発表する内容まではいかないと思う。グループの具体的な行程を決めないと先に進まない。

委員：分科会は、まちづくり方針の見直しのために作ったのか。今後そのまま続くのか。

事務局：今回分科会となっているが、見直しの作業のためのグループになる。

全面的な見直しではない。この方針を作成した以降の状況変化があれば、これに対応して見直す必要がある。状況変化がなければ変わらないということになる。まちづくり方針があって、それに添って様々な取組みが進んでいるのであれば、それでよしということになる。

委員：行政に対して把握しておくべき資料を請求することもできると思う。協議の結果、何もなければ発表のないグループがあってもいい。

分科会の開催

【分科会協議内容の発表】

第1分科会： 「上田道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり

「都市間の連携の強化を目指し、広域幹線道路網や地域外との交流を促進する道路整備と公共交通網の整備を推進するとともに、広域的な交流拠点となる『上田道と川の駅』の賑わいの創出と必要な施設整備を推進します。

また、地域のPRと情報の受発信源としての機能や地域防災機能を併せ持つ、周辺自然環境と調和した拠点とし、持続可能な地域づくりを推進します。」

以上のように、内容の見直しを行った。

第2分科会： 人や自然にやさしい交通機能の整備

- ・今日のところは、具体的な文章は変更せずに、資料を収集してからまとめたいと思っている。「交通量」「事故発生状況」等の資料をお願いしたい。北天神町古吉町線の周辺の地図もよろしくをお願いしたい。
- ・国道18号バイパス（上田坂城間）の地図、神畑原峠線の現在の進捗状況を示した地図があればそれもいただきたい。
- ・統合保育園アクセス道路整備が必要と思うが、これは第3グループの保育園の関係のところに入れていただきたい。
- ・別所線の関係で、現在の地域まちづくり方針では「観光の振興を図ります」となっている。もっと地元住民の方の利用促進が必要なので、そのような文章も入れ

たい。別所線の利用状況を示した資料等、お願いしたい。

第3分科会： 地域医療体制と保健福祉施設の整備

地域で子どもを育てるまちづくり

家族の視点について協議をした。他の点については、現在進行中のもの、完成したのものもあるので、特に直すところはないと考えている。家族の問題は非常に難しい問題だ。核家族化しているため、ひとつの問題を家庭で解決できない。出来たら気楽に相談できる場所を作っていただければと思う。高齢化社会になり、お年寄りが孤立してしまっている。新聞からの情報では、家族の絆やまとまりが弱くなっていると考えの方が、81%になる。地域の中での支え合いが必要になる。解決していくためには具体的にどのようにしていけばいいか。集う場所を作るなど、公民館の利用も考えていきたい。青少年の犯罪も多発している。協議会として、家族の問題を具体的に進めるのは難しい。制度面の検討も大事だが、心の問題が非常に大事になっている問題だと思う。引き続き検討してまいりたい。

第4分科会： 自然との共生を目指す里山と農地の保全

歴史的・地域的資源の保全と活用

について、文言の見直しをするとところがいくつかあった。「自然環境に恵まれている」という部分を取り、「この地域は宅地化が進行する一方で、優良農地が保全されている地域もあります。千曲川をはじめ産川や浦野川、小牧山や半過の岩鼻、須川湖などの豊かな自然を守り、更には優良農地を保全し、人と自然との調和したまちづくりを目指します。」このような表現に見直した。現在、須川地区がどのような状況になっているか。耕地面積がどのくらいあり、実際の耕作面積がどのくらいか、資料があったら教えていただきたい。

については、「この地域には神社仏閣や数多くの歴史的遺産があります。これら貴重な遺産を『地域の宝』として、まちづくりに生かします。」とあるが、他の地域のまちづくり方針の文言もあるので、それを参考にしながら次回以降、見直しを検討していきたい。城南地域に指定文化財がどのくらいあるのか、その資料を委員全員に配付願いたい。

【主な質疑等】

委員：今度道と川の駅の周りにウォーキングコースが出来る。その活用方法も のテーマの中で検討していただきたいと思う。

委員：放課後の児童館・児童センター等施設は現状で足りているのかお聞きしたい。

事務局：需要供給の資料があるので、次回までに用意する。

(2) 上田城南地域協議会だよりについて

進め方等について、事務局より説明

(3) その他

- ・地域の施設及び道路等の整備状況確認の視察について

会長：マイクロバスを利用し、地域の施設等の現時点での進捗状況を確認するため視察を行いたい。日程を決める。

事務局：ご希望の多い12月2日(木)に視察を行いたいと思う。(通知別途)

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成22年度12月15日(水) 開催予定

閉 会